

こなほんしってる?

2021 No.1075

11月号



だざいふしみんとしょかん・すくすく号 電話921-4646 Fax921-4896
太宰府市民図書館ホームページアドレス <http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

《ティーンズから》

※【 】内の記号は分類番号です。読みたい本が見つからないときは、カウンターの人にきいてね。リクエスト（予約）もできます。

☆今月のおすすめ! ☆

♠ サンゴは語る

大久保 奈弥/著 岩波書店 【Y483】

サンゴは一見、動いていないように見えるので植物だと思われていますが、実は動物の仲間です。サンゴは美しく神秘的な存在ですが、いま絶滅の危機にあります。危機を乗り越えるために私たちにできることはあるのでしょうか。(恭)

♠ イカル荘へようこそ

にしがき ようこ/著 PHP研究所 【YNニシ】

中学に入ってからずっともめ続けているママとパパにうんざりしていた真子は、とうとう家をとびだしてしまいます。家に帰りたい真子は、偶然出会った夏鈴の住む「イカル荘」でホームステイすることになります。夏鈴と夏鈴の父・ジジそして留学生のデフィンとともに暮らすうちに真子は……。 (紀)

♠ 世界でいちばん優しいロボット

岩貞 るみこ/文 片塩 広子/絵 講談社 【281】

クラスの子たちとなじみず、学校を休んでベッドの上で毎日を過ごしていた吉藤。中1の夏、母親が申し込んだロボットコンテストで優勝したことをきっかけに、ロボット作りのとりこになり、さらには人の役に立つものを作りたいという目標ができる。高校、大学で研究に没頭する吉藤だが……。 (英)

♠ 海を見た日

M. G. ヘネシー/作 杉田 七重/訳
鈴木出版 【Y93ヘネ】

アメリカのロサンゼルスを舞台に、それぞれの事情で親と暮らすことができず、養母の家に預けられた3人の子供たち。そこへアスペルガー症候群の男の子クエンティンが、里子に加わったことをきっかけに、子供たちに新しいきずなが生まれていきます。(い)

♠ バトン

中川 なをみ/作 大野 八生/画 くもん出版 【Nナカ】
絵が好きな圭は、木や花をよく描きます。学校で落としたスケッチブックを、白井さんが届けてくれました。白井さんは学校ではほとんど誰ともしゃべらない女の子。イラン人の友だち、ハッサンに家を教えてもらったといいます。仲良くなった3人はある日、圭のおばあさんに季節外れのひなまつりによばれて……。 (優)

♠ さよならエルマおばあさん

大塚 淳子/写真・文 小学館 【490】

エルマおばあさんは85歳。子ども時代を農場で過ごし、結婚してからは5人の娘を育て、65歳まで働いて家族を支えてきました。血液のガンを患って、あと1年ほどの命と知ったエルマおばあさんは「最後まで楽しみながら生きたい」と好きなことをしながら過ごします。その日々が写真とともに綴られている本です。(み)

♠ こども環境学

朝岡 幸彦/監修 新星出版社 【519】

「環境学」とは、人が自然と共生し、発展していくためにモノのつながりを知り、どう行動するのか考えることをいいます。「北極の氷がとけているって本当?」「給食の食べ残しはどこに行くの?」など、これから“地球”で生きていくために、環境の変化や私たちの生活のことを学び、何ができるのかを考えましょう。(絵)

☆他にもあるよ! ☆

♠ はなの街オペラ

森川 成美/作 坂本 ヒメミ/画 井上 征剛/監修・解説
くもん出版 【YNモリ】

♠ 月にトンジル

佐藤 まどか/作 佐藤 真紀子/絵 あかね書房 【Nサト】

♠ Fができない

升井 純子/作 文研出版 【YNマス】

♠ 庭

小手鞠 るい/作 小学館 【YNコデ】